

令和6年度 事故等に関する包括的公表（第5回/R07.03.01～R07.03.31）

No.	発生年月	発生場所	種別	概要	再発防止策
10	R07.03	不明	骨折	<p>就寝に当たり、訪室した看護師が装着していた靴下を脱がせたところ、右第5趾が著しく腫脹している状況を発見しました。併せて、足背に軽度の熱感と発赤が認められたほか、第4趾・第5趾から足背にかけて2×4cm程度の皮下出血がみられました。</p> <p>当日は、鎮痛剤を使用し安静を保ちつつ、後日、西部医療センター整形外科を受診し、右第5趾基節骨基部骨折と診断され、安静による保存的治療となりました。</p> <p>発生原因の特定は困難な状況ですが、靴下の脱着時の負荷、車いすやベッドへの移乗の際の周辺物との接触、体位変換の際のベッドとの擦れや巻き込みなどが、可能性として考えられます。</p>	<p>当該利用者様は、今回以前にも、この3年間で2回の骨折(上腕骨頸部、大腿骨遠位部)をされており、骨粗しょう症の状況も重度であることから、細心の注意を払いながら愛護的なケアに努めておりました。</p> <p>そうした中で発生した今回の事案をふまえ、微小外力によっても引き起こされる骨折のリスクについての基本認識とともに、骨折しやすい部位について理解をより深め一層愛護的なケアの実践に努めてまいります。</p> <p>特に、寝具交換や衣類の脱着、体位変換、移乗の際などにおける負荷の軽減や周辺物との接触、衝突などの回避に十二分な注意をもってケアを行うとともに、今回の事案を受け、車いすのフットレストを大きくし、足の趾の安全確保に配慮いたしました。</p>

※No.1～9 公表済み